

< N P O法人等の非農家等との連携を実施している事例 >

入植 7 0 周年の記念に神社を修復

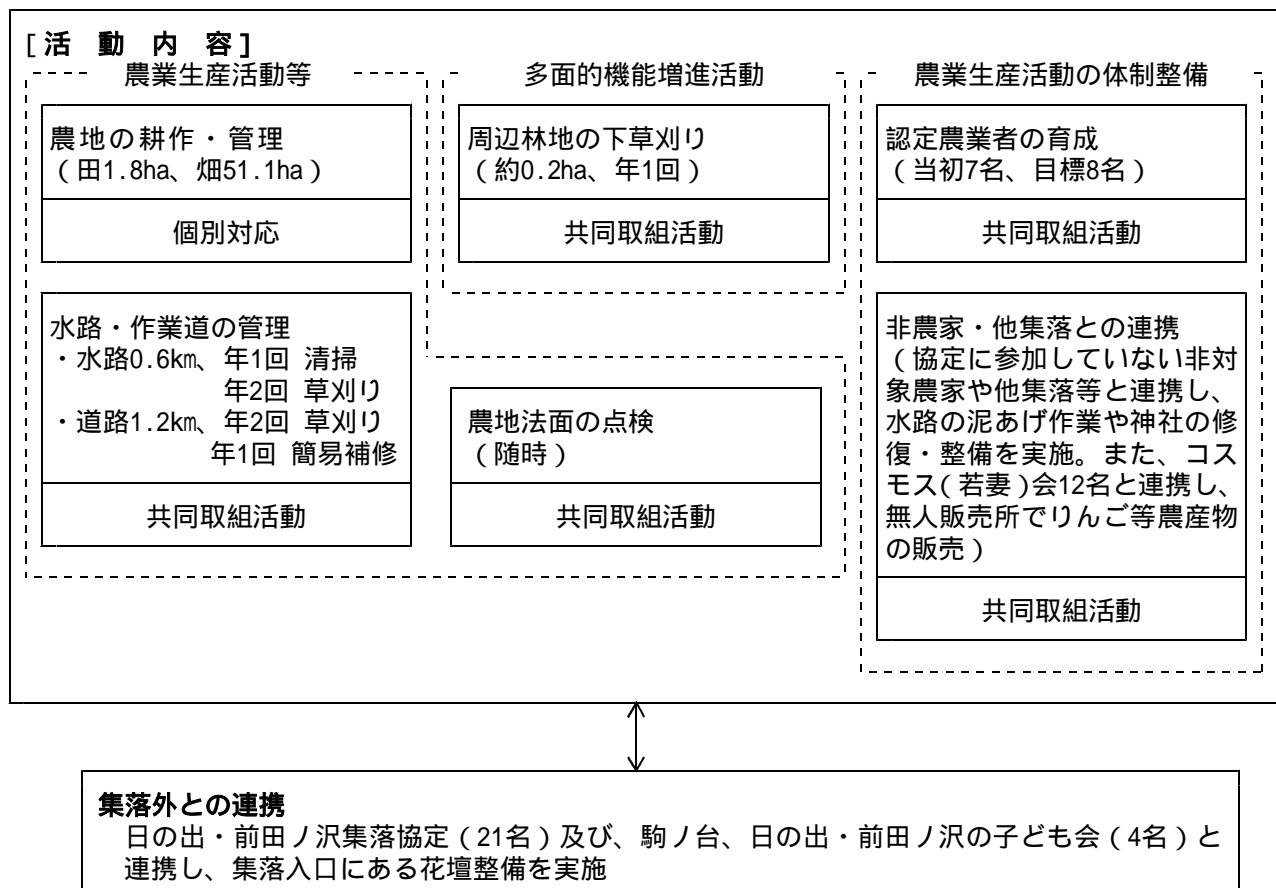
1 . 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県南津軽郡大鰐町 駒ノ台			
協定面積 52.9ha	田 (3%) 水稲	畑 (97%) りんご・トマト	草地	採草放牧地
交付金額 216万円	個人配分			25%
	共同取組活動 (75%)	担当者活動経費		10%
		体制整備に関する活動経費		30%
		水路・農道等維持管理等経費		28%
		交付金の積立・繰越		7%
協定参加者	農業者 31人			

2 . 集落マスタープランの概要

当集落は平成18年で入植70周年を迎えた、りんご栽培を中心とした農業地帯である。

歴史が浅く伝統文化や芸能といったものはないが、地域活性化に向けた取組に対する積極性があり、まとまりが良いという特徴がある。しかしながら、その一方で農産物価格の低迷等により非農家も増えつつあるのが現状である。そこで、農村景観や多面的機能を次世代に残し、認定農業者を増加させるとともに、集落内の非対象農家、非農家及び近隣集落と連携して活動を行っている。また、入植70周年を記念し、地域住民の心のよりどころである神社を修復し整備することとした。

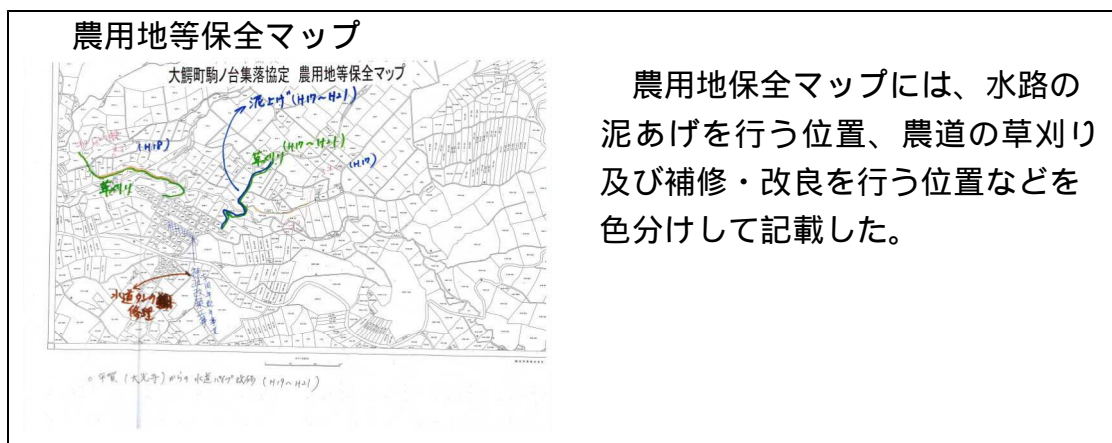


3. 取組の経緯及び内容

当集落は、りんご園に向かう農道が狭く悪路も多いため、運搬する際にりんごを傷つけることがあった。また、小規模経営で後継者が育ちにくいため、耕作放棄の発生も懸念されてきた。そこで、現在7名いる認定農業者を1名増加させ、将来にわたって持続的な農業生産活動を可能にするため、協定を締結することとした。

非農家等と連携し、農地の維持管理や環境整備など共同取組活動を拡大するとともに、平成18年には神社を修復・整備、入植70周年記念式典を集落全体で盛大に行った。

また、農家の持っている技術を活かし、農道と簡易水道の整備を5年計画で整備することとした。さらに、集落内にある無人販売所でのりんご販売も評判が良かったため、老朽化してきた施設を更新することを検討している。



修復・整備した神社



農道の整備

[平成19年度までの主な効果]

認定農業者の育成 (当初7名、目標8名、H19実績0名)

集落内の環境整備活動

(集落内の非農家や他集落と連携し、水路の整備等の活動を実施)

農道の補修・改良 (当初0m、目標100m、H19実績80m)

簡易水道の補修・改良

(目標パイプ: 当初0m、目標5,000m、H19実績2,500m)

(水道タンク機械室改築により安全な水道水を安心して利用できるようになった)

りんご等農産物の販売による収益向上

(農産物の収益継続のため、無人販売所の更新を行う)